

## 平成21年度春期 ITパスポート試験 分析報告

株式会社ウイネット  
情報処理教育研究室

新試験制度がスタートし、初めてのITパスポート試験が4月19日(日)に実施されました。

この度弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、本試験出題内容に関するご意見を聴取させていただき、情報処理教育研究室で整理及び分析を行いました。今後のご参考として、今回の本試験分析をご報告させていただきます。

### 1. 分野・分類別出題数

| 分野        | 大分類    |              | 中分類           |                   |               |    |
|-----------|--------|--------------|---------------|-------------------|---------------|----|
| ストラテジ系    | 35問    | 1 企業と法務      | 18問           | 1 企業活動            | 13問           |    |
|           |        | 2 経営戦略       | 10問           | 2 法務              | 5問            |    |
|           |        |              |               | 3 経営戦略マネジメント      | 7問            |    |
|           | 25問    | 3 システム戦略     | 7問            | 4 技術戦略マネジメント      | 0問            |    |
|           |        |              |               | 5 ビジネスインダストリ      | 3問            |    |
|           |        | 4 開発技術       | 9問            | 6 システム戦略          | 5問            |    |
|           |        |              |               | 7 システム企画          | 2問            |    |
| テクノロジー系   | 40問    | 8 コンピュータシステム | 12問           | 8 システム開発技術        | 7問            |    |
|           |        |              |               | 9 ソフトウェア開発管理技術    | 2問            |    |
|           |        |              |               | 10 プロジェクトマネジメント   | 9問            |    |
|           | 9 技術要素 | 20問          | 11 サービスマネジメント | 7問                | 11 サービスマネジメント | 5問 |
|           |        |              |               |                   | 12 システム監査     | 2問 |
|           |        |              |               |                   | 13 基礎理論       | 4問 |
| 100問      | 100問   | 100問         | 100問          | 14 アルゴリズムとプログラミング | 4問            |    |
|           |        |              |               | 15 コンピュータ構成要素     | 1問            |    |
|           |        |              |               | 16 システム構成要素       | 4問            |    |
|           |        |              |               | 17 ソフトウェア         | 5問            |    |
|           |        |              |               | 18 ハードウェア         | 2問            |    |
|           |        |              |               | 19 ヒューマンインタフェース   | 1問            |    |
|           |        |              |               | 20 マルチメディア        | 1問            |    |
| 21 データベース | 4問     |              |               |                   |               |    |
| 22 ネットワーク | 5問     |              |               |                   |               |    |
| 23 セキュリティ | 9問     |              |               |                   |               |    |

#### (1) 分野

情報処理技術者試験の試験要綱(平成20年10月27日:IPA)の14ページに、100問出題中、“ストラテジ系”35%、“マネジメント系”25%、“テクノロジー系”40%と明記されています。

#### (2) 大分類・中分類

出題数が多い大分類ベスト3は、“技術要素”20問、“企業と法務”18問、“コンピュータシステム”12問でした。また、出題数が多い中分類ベスト3は、“企業活動”13問、“プロジェクトマネジメント”9問、“セキュリティ”9問でした。

### 2. 出題形式

|       | ストラテジ系    | マネジメント系   | テクノロジー系   | 全体         |
|-------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 用語選択  | 8問(23%)   | 5問(20%)   | 5問(13%)   | 18問(18%)   |
| 語句選択  | 8問(23%)   | 6問(24%)   | 3問(8%)    | 17問(17%)   |
| 文章選択  | 10問(29%)  | 9問(36%)   | 14問(35%)  | 33問(33%)   |
| 計算・思考 | 9問(26%)   | 5問(20%)   | 18問(45%)  | 32問(32%)   |
| (合計)  | 35問(100%) | 25問(100%) | 40問(100%) | 100問(100%) |

全体として、“用語選択(単語を選択)”と“語句選択(複数の単語から構成される句を選択)”は、ほぼ同数の出題がありました。

全体として、“用語選択+語句選択”、“文章選択”、“計算・思考(図表理解含む)”は、それぞれほぼ1/3ずつの出題になっています。

“計算・思考”の出題構成比率が特に高い分野は“テクノロジー系”であり、信頼性の計算、アクセス権、2進数、ベン図、排他制御、表計算、流れ図など、多くのテーマが出題されています。

### 3. 過去の情報処理技術者試験の再出題問題

過去の情報処理技術者試験と全く同じ又は非常に類似の問題が、次のように出題されました。

|     | テーマ     | 過去の情報処理技術者試験の出題(午前の試験)          |
|-----|---------|---------------------------------|
| 問7  | 期待値の計算  | 平成20年度春期基本情報技術者試験・問79           |
| 問13 | 株主総会    | 平成20年度春期初級システムアドミニストレータ試験・問63   |
| 問52 | ITガバナンス | 平成19年度秋期情報セキュリティアドミニストレータ試験・問44 |
| 問57 | ディレクトリ  | 平成17年度秋期初級システムアドミニストレータ試験・問11   |
| 問60 | プラグイン   | 平成18年度秋期初級システムアドミニストレータ試験・問20   |
| 問84 | ウイルス    | 平成10年度秋期初級システムアドミニストレータ試験・問67   |

### 4. 中間A~C(問89~問100)

中間A~Cの出題内容と難易度は、次のとおりです。

中間Aは、LANシステムの障害を特定する問題でした。分野構成は、テクノロジー系4問です。前半の2問は障害の原因となる構成要素の数を問う問題、後半の2問は流れ図の穴埋め問題が出題され、難易度は高いと考えます。

中間Bは、会員データ分析の問題でした。分野構成は、テクノロジー系1問、ストラテジ系3問です。表の結合と分析、円グラフと積上げ棒グラフの理解を問う問題が出題され、難易度は低いと考えます。

中間Cは、通信販売業務の問題でした。分野構成は、マネジメント系3問、ストラテジ系1問です。1日の業務量、2人で行う場合の作業時間とグラフ、途中で交代する場合の作業時間を問う問題が出題され、難易度は高いと考えます。

### 5. 合格ライン

“100問の正答率が60%以上”、かつ、“各分野の正答率がすべて30%以上”で合格です。IPAから提供されているサンプル問題よりも、全体としての難易度は高いと考えます。したがって、サンプル問題では合格者を60%程度と想定していましたが、40%~50%の合格率になると予想します。

### 6. 今後の指導方法

まずは、シラバスに記載されている重要用語をマスタすることが重要です。また、計算・思考・図表問題対策として、初級システムアドミニストレータ試験や基本情報技術者試験の午前の過去問題の中でITパスポート試験に出題が考えられる問題を徹底的に演習することが効果的です。さらに、中間の対策として、初級システムアドミニストレータ試験の午後の過去問題の中で、データ分析、セキュリティ、ネットワーク、障害対策、運用管理などを演習することも得点力アップにつながります。